



渋滞が激しかった明田踏切(昭和45年頃撮影)



明田地下道の開通を祝ってパレード

あきたノスタルジー

秋田の昔を、写真で振り返ります。

今からおよそ20年前の昭和55年4月1日、
「明田地下道」が開通しました。

地下道の開通とともに姿を消した「明田踏切」。

駅に近いことから列車の通行量も多く、一日のうち半分近くも閉ざされている「開かずの踏切」と呼ばれていました。

明田地下道の建設は、こうした交通の不便を解消しようと、昭和49年11月に着工。

工事は、列車が走る鉄道線路の下にトンネルを掘るといふ、少しの狂いも許されないもの。

それに加え地盤が軟弱だったため、なかなか思うように進みませんでした。

結局、完成まで5年4か月の歳月と約25億円の工事費がかかりました。

開通式には地区住民およそ1,000人が参集。

渋滞で悩まされた長い間の苦勞が解消された喜びの瞬間でした。

千秋美術館・館藏品展

「日本画と洋画」~くらべてみる表現の世界~

とき / 3月25日(日)まで

午前10時~午後6時

ところ / 千秋美術館(アトリオン内)

観覧料 / 一般300円、高・大学生200円、中学生以下無料

問い合わせ 千秋美術館 ☎(836)7860

アトリオンビルの保守・点検のため、2月24日(土)と25日(日)は臨時休館します。

人物・風景・花鳥画などジャンルに分けて、日本画と洋画の表現の特徴をわかりやすく比較して展示します。ぜひご覧ください。



岡田謙三「梅」



菅井梅閑「梅」